## 防災に関わる児童の安全確保についての基本的対応

2023年4月改定

横浜市立茅ケ崎小学校

## ◆暴風雨・大雪・Jアラート等

日本前ら時の時点で 横浜市内(神奈川県全域または神奈川県 東部)に 幸程 あるいは 李 幸程 あるいは 李 東風、雪 警 幸程 あるいは 天 風、雪 警 幸程 あるいは 天 風、雪 警 幸程 あるいは 天 風、雪 警 幸程 あるいは 天 一 一 ト (全国瞬時警報システムによって できない。 大 一 できない。 大 できない。 カるらいは 一 できない。 大 できる。 よ う 全 木 ウ へ 1 中 5 下 1 日 5	→ 表別 (18) - 人 当 - 3 プ → ト 寺 警報・注意報発令状況							
機浜市所 (神奈川県全域または神奈川県	_			1文未	一	出欠席等		
登	校	横浜市内(神奈川県全域または神奈川県東部)に 暴風警報 あるいは 大雪警報 あるいは 最別は 暴風雪警報	⇒学校からのメール配信等は原則なし。 ⇒6時以降、解除されても登校しない。 ⇒6時の時点で発令されていなくても登校時 刻までに発令された場合には登校を見合わ	全市一斉に中止 休業		休業		
<b>Jアラート</b> (全国瞬時警報システム)での警報(ミサイル・テロなど)が、横浜市内(神奈川県全域または神奈川県東部)に発せられている場合		<b>『子   李   子   幸   本  </b>   が発令継続中の場合     暴風警報・大雪警報以外の警報や注意報	ない限り、登校上安全と判断されたら十分注			Ŋ		
東部)に    東部)に		ステム) での警報 (ミサイル・テロなど) が、横浜市内 (神奈川県全域または神	警報の出ている間登校を見合わせ、建物の中で安全を確保する。 (警報解除と判断されたら) 警報が 解除された約1時間 後を目安に学校に到 着できるよう登校し	メール配信等に努めますが、配信は困難であ				
上記以外の非常時発生の場合 例えば事件発生や、暴風もしくは大雪警報が発令されそうな状況など。	校	東部)に 暴風警報 あるいは 大雪警報 あるいは 暴風雪警報 あるいは 降灰予報 が発令継続中の場合 軽微な降灰	学校に留め置き後、引き取りカードに名前のある方が児童を弓   ⇒ 耳又 る。  ⇒メール配信システムによって緊急下校の連絡を流す。※注  ⇒引き取りカードに名前のある方は、各教室から児童を引き取り下校する。  ⇒メール配信システムによって	状況をみなが		出席扱い		
		下ある場合 上記以外の非常時発生の場合 例えば事件発生や、暴風もしくは大雪警報が発令されそうな状況など。 Jアラート(全国瞬時警報システム)での警報(ミサイル・テロなど)が横浜市内(神奈川県全域または神奈	⇒メール配信システムによって 緊急連絡を流す。 下校時刻に警報が継続していなければ、通学 路の安全確認の上、通常下校。	状況をみなが ら対応 警報の出ている 安全を確保する	。警報解除と判 する。メール配	出席扱い		

※注:状況によっては「メール配信システムが機能しない場合」も想定されますので、登校後警報発令継続中の場合は、メールの有無 に関わらず、引き取りをお願いいたします。

気象警報の種類を問わず、「特別警報」が発表された場合は、「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」が発表された場合と同様の対応 をとります。

◆ 大 規 模 地 震 (メール配信システムが機能しない場合を想定しています)

	大規模地震発生状況等	登下校	授業	給食	出欠席等
	<b>人</b> 从侯地辰光工 <b>认</b> 儿守		技术	和及	山人师守
登		自宅もしくは学校のうち、 近 し、方(こ 選至 <b>至</b> 佳。	再開時まで休業	_	
校中		学校避難の場合は、留め置き後、引き取りカードに名前のある方が引き取る。	(登校再開日は追 って連絡)	中止	休業
在校時	大規模地震が発生した場合 (横浜市内で震度5強以上)	学校に留め置き後、引き取りカードに名前のある方が児童を弓   き 耳又 る 。 ⇒学校からの引き取り連絡は 原則としてなし。	打ち切り	中止	出席扱い
下		自宅もしくは学校のうち、 近 し、方(こ 遅至 葉隹。	再開時まで休業		
校中		学校避難の場合は、留め置き後、引き取りカ 一ドに名前のある方が引き取る。	(登校再開日は追 って連絡)		

- ○保護者の方は、テレビ・ラジオ等により、気象状況・∫アラート等の正確な情報収集をお願いいたします。
- 〇状況によっては、このとおりの対応ができない場合も予想されます。ご承知おきください。 〇このマニュアルは、改訂するまで有効です。保存をよろしくお願いいたします。

## ~横浜市防災計画より~

- ・降灰が継続している間は休校とする。ただし降灰量がわずかであるなど、児童生徒の安全確保や学校活動に支障がない場合 は、学校長の判断で教育活動の継続・再開を可能とする。
- 市内鉄道会社全社(JR線、東急線、みなとみらい線、 体が判明した場合には、全校一斉休校とする。 京急線、相鉄線、市営地下鉄線、横浜シーサイドライン)の計画運